

漁海況情報

第590号(令和3年8月17日発行)

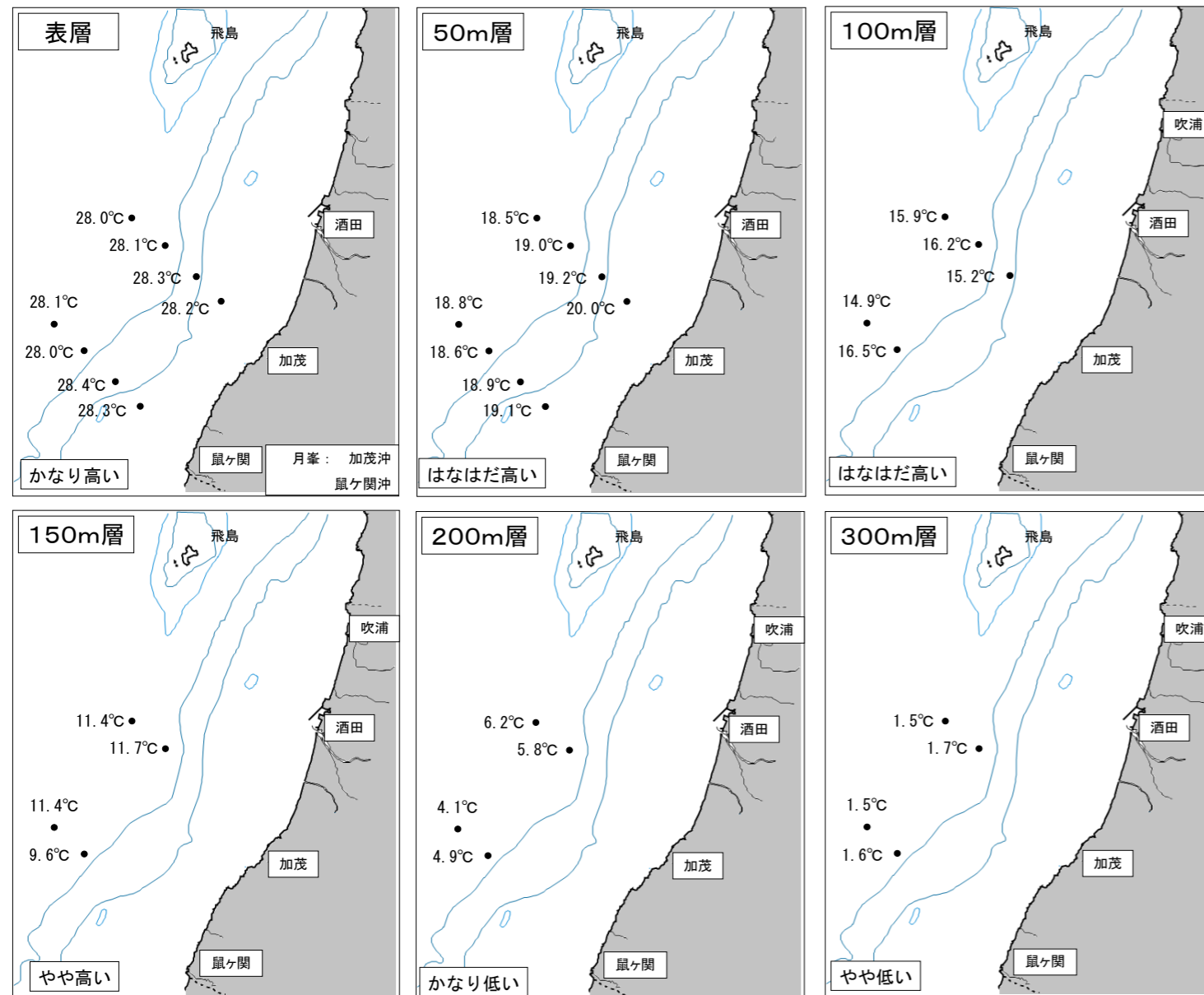
発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

○庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、8月2日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層は「かなり高い」、50m層および100m層は「はなはだ高い」、150m層は「やや高い」、200m層は「かなり低い」、300m層は「やや低い」でした。
○7月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「やや高い」でした。
○国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、「2021年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報(8月~12月)」を発表しました。
・今期の全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
・本州北部日本海では来遊量は前年および近年平均を下回る。漁場は前年同様、8月まで形成される。
・沖合域では来遊量は前年および近年平均を下回る。漁場は北海道西沖では形成されにくく、大和堆周辺海域では形成されても安定しない。
○8月12日現在本県沿岸域では大型クラゲは確認されていませんが、西日本において出現の報告があります。今後の情報にご注意ください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(8月上旬観測値)

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	28.2	19.0	15.7	11.0	5.2	1.6
前年差	+2.6	+2.0	+2.3	+0.0	-1.4	-0.0
平年差	+2.3	+1.8	+3.0	+0.6	-1.7	-0.3
評価	かなり高い	はなはだ高い	はなはだ高い	やや高い	かなり低い	やや低い
(前月評価)	(平年並み)	(かなり高い)	(やや高い)	(かなり高い)	(やや低い)	(やや低い)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



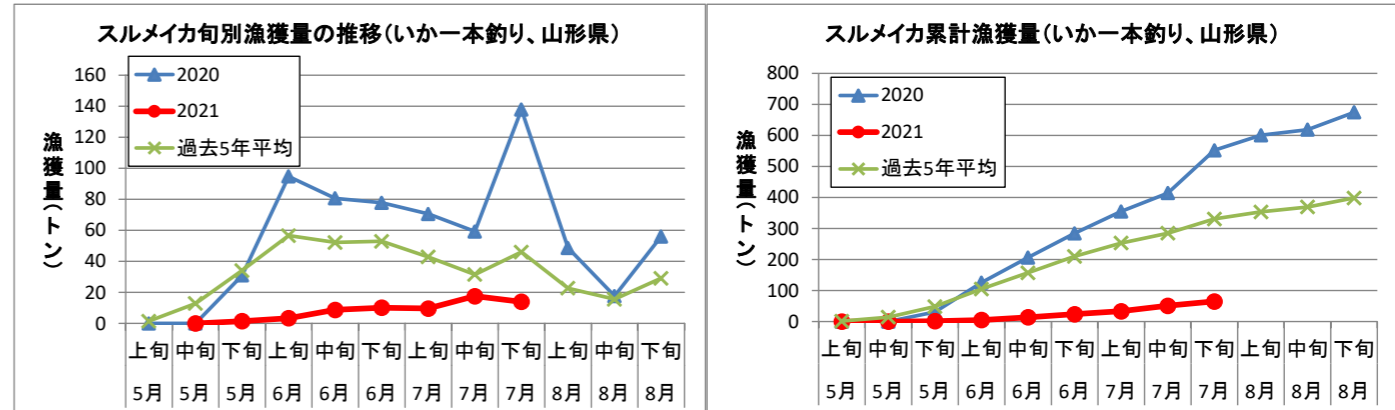
地先平均水温(7月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	25.1	+1.4	+1.3	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	23.5	+0.4	+1.0	やや高い

沿岸スルメイカ漁(小型いか釣り)の状況

・5~7月までの本県の漁獲状況は、延べ244隻(前年比26%、平年比38%)で、重量65トン(前年比12%、平年比20%)となっており、旬別・累計漁獲量ともに平年を大きく下回っています。(※「平年」は2016年から2020年の5ヶ年平均)



第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、7月30日に、「2021年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(8月~12月)
- 今期の全体の来遊量
: 前年および近年平均を下回る。
- 本州北部日本海側
・来遊量・漁況: 前年および近年平均を下回る。
・漁期・漁場: 前年同様、8月まで漁場が形成される。
- 沖合域
・来遊量・漁況: 前年および近年平均を下回る。
・漁期・漁場: 北海道西沖では形成されにくい。大和堆周辺海域では漁場が形成されても安定しない。



大型クラゲ情報

- 山形県内では8月12日現在、大型クラゲの出現は確認されていません。
- 西日本の海域では8月11日時点では大量出現とはなっていないものの、長崎県の定置網で100個体を超える報告があるほか、鳥取県、兵庫県で少量広範囲で確認されています。(漁業情報サービスセンターによる)
- 水産研究・教育機構の「大型クラゲの出現状況」(7月16日)によると、今後は昨年と同程度の大型クラゲが対馬海峡西水道を中心に日本海に流入し沖合域を移動、一部が東水道から流入し山陰沿岸を東進する可能性があると予測されています。
- 水産研究所では引き続き、大型クラゲのモニタリング・情報収集を実施していきます。

7月の漁況

○延べ操業隻数は2,335隻、総漁獲量は276トンで前年比62%と、平年を下回りました。
山形県沿岸や沖合域におけるスルメイカ漁場の形成が遅く、スルメイカの漁獲量が平年を大きく下回ったことが大きな要因と考えられます。

○採貝藻漁業の漁獲量は44トンで前年比110%でした。イガイおよびモズクは平年を上回り、アワビおよびサザエは平年を下回りました。イワガキおよびイギスは前年並みでした(イワガキは「その他の漁業」を含む)。

○定置網漁業の漁獲量は9トンで前年比67%でした。ブリ類、ウマヅラおよびトビウオは平年を下回りました。アジは前年並みでした。

○はえなわ漁業の漁獲量は2トンで前年比17%でした。タイ類、ブリ類、クロマグロ、ノドグロ(アカムツ)、メバル類およびサワラは平年を下回りました。

○その他の漁業では、あまだいさし網漁業のアマダイ、一本釣り漁業のメバル類、かご漁業の浅海性パイ類およびばいかご漁業の深海性パイ類は平年を上回り、いか一本釣り漁業および船凍いか釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ(ウシノシタ類)、サザエおよびキスは平年を下回りました。

* 前年比は平成28～令和2年までの平均値と比較した値です。
* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	162	317	496	177	304	281	148	450	2,335	86%	77%
漁獲量	10,097	9,633	132,618	54,484	20,416	15,464	2,683	30,981	276,374	54%	62%
前年比	207%	70%	41%	97%	70%	91%	105%	46%	54%		
平年比	93%	49%	54%	75%	91%	75%	55%	65%	62%		

採貝藻漁業

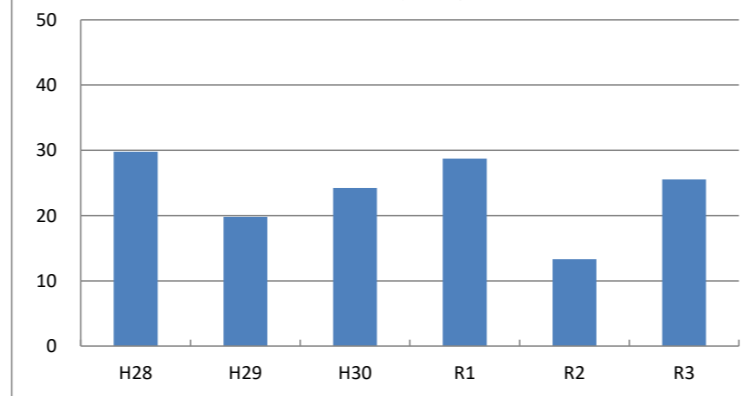
支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	130	147	96	95	170	104	123	274	1,139	131%	101%
イワガキ	7,623		7,020	3,881	3,666	673	296	2,387	25,545	192%	110%
アワビ	49		5			2		4	60	41%	17%
サザエ	20	2,775	30	646	136	668	918	3,155	8,346	102%	74%
イガイ	50		751	7	301	6	233	1,174	2,521	131%	172%
イギス	21	24	16	6	250			332	648	118%	106%
モズク		105		143	2,918	876	877	19	4,937	291%	366%
その他	316		623	249	134	19	18	189	1,546		
計	8,079	2,903	8,443	4,931	7,404	2,243	2,341	7,259	43,603	165%	110%
前年比	203%	151%	228%	107%	130%	129%	166%	216%	165%		
平年比	96%	52%	108%	166%	177%	97%	131%	110%	110%		

※当所の採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	7	25	11	43	73%	79%
ブリ類	214	1,430	287	1,932	27%	49%
アジ	614	2,965		3,579	111%	112%
ウマヅラ	18	188	35	240	69%	68%
トビウオ	60	51	5	116	14%	7%
その他	519	2,333	263	3,115		
計	1,425	6,967	590	8,982	38%	67%
前年比	116%	49%	10%	38%		
平年比	100%	96%	17%	67%		

イワガキ(全漁業、7月)



はえなわ漁業

単位: 隻・kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	3	9	10	4	3	16	7	33	85	52%	30%
タイ類	9	8	38	23	22	6	13	97	214	40%	13%
ブリ類		27	3			7		25	61	160%	19%
クロマグロ(30kg未満)	5	52	51						108	6%	4%
ノドグロ(アカムツ)	1		39		12	16		171	239	38%	36%
メバル類(※)	4		1	19	11	8	2.5	88	133	39%	10%
サワラ	5		18						23	8%	1%
その他	187	33	29	20	48	156	119	680	1,272		
計	211	120	178	61	93	192	134	1,060	2,049	36%	17%
前年比		7%	55%	54%	17%	29%	17%	68%	36%		
平年比	126%	5%	15%	34%	15%	19%	5%	28%	17%		

※アカラ(ハツメ)を含む

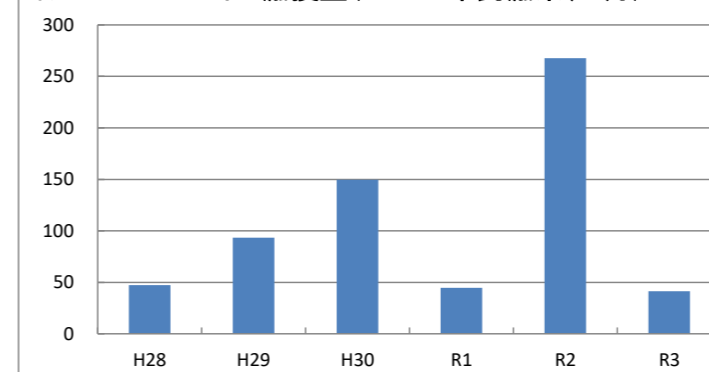
その他の漁業

単位: 隻・kg

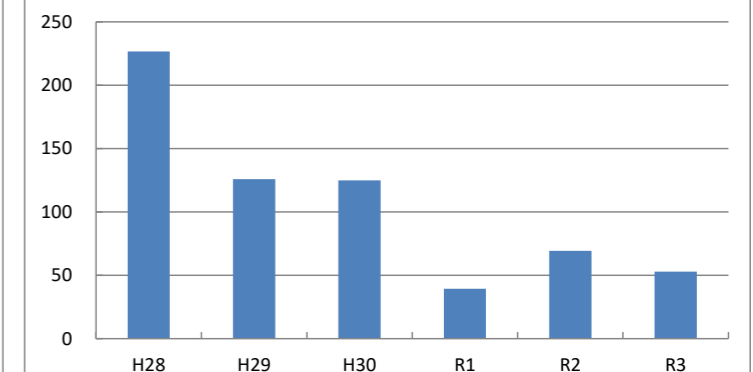
漁業種類	いか一本釣り漁業	船凍いか釣り漁業	さし網漁業			あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	144	1	358			55	100	165	104	18
総漁獲量(kg)			8,206			5,673	31,918	4,951	10,383	
前年比			97%			105%	93%	111%	90%	
平年比			68%			145%	87%	83%	129%	
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ(ウシノシタ類)	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	メバル類(※)	パイ類	深海性パイ類
漁獲量(kg)	41,250	52,784	822	2,535	463	4,896	27,123	1,361	10,383	10,134
前年比	15%	76%	333%	60%	89%	101%	94%	143%	91%	123%
平年比	34%	45%	83%	47%	79%	163%	89%	220%	130%	126%

※アカラ(ハツメ)を含む

スルメイカ漁獲量(いか一本釣り漁業、7月)



スルメイカ漁獲量(船凍いか釣り漁業、7月)



最上丸の調査予定(8月中旬～9月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・稚魚調査(マガレイ)を行います。
- ・由良沖のカニ礁の調査を行います。
- ・加茂沖の人工漁礁の調査を行います。
- ・明石礁の海底調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
よろしくお願ひします。

